

## 5月のアーティスト



## みんな

荻原 すず ちゃん  
わがの里保育園 5歳



いとこと動物さんたちと一緒に、保育園のこのほりを見上げているところを想像して描いたの。かぶとも上手に描けてうれしかったよ！

## の広場

# この人に聞く

No.238 Spotlight

クマの暮らしを見つめ続ける写真家

佐藤 嘉宏 さん



「クマの行動の意味が分かる写真を撮りたい」。そう語るのは、野生動物写真家の佐藤嘉宏さん（北鬼柳・69歳）です。クマが何を食べ、どう暮らしているのかが伝わる写真を撮り続けています。クマの撮影に力を入れるきっかけとなったのは、約40年前の仙人峠での出来事です。護岸の沢から上がれなくなった親子グマを、恐怖を感じながら見続ける中で、母グマが子グマを必死に助けようとする姿を目の当たりにしました。「人を襲いに来るとは、子グマを守るうとして」。その懸命な姿に、クマへの見方を大きく変えました。

「クマの行動の意味が分かる写真を撮りたい」といっているのかを知りたいと観察を重ねてきました。撮影の時は、静かに見守るのが信条。ここで何をしているのかと問いかけながらレンズを向けると、木に登って食べ物を探る姿や、人間のような親子のやり取りが見えてくると言います。観察を続ける中で、クマは「賢く、優しく、警戒心が強く、親子の愛情も深い動物」と確信を深めています。近年の人里への出没については、人間社会の変化が大きく影響していると分析。人の活動が弱まり、里山の管理も行き届かなくなったことで、クマの生活圏が人里近くまで広がってきたと見ています。山で暮らすクマと、人里で強い警戒心から混乱状態にあるクマとは、行動が大きく異なること話す佐藤さん。クマの生態に関する講演では、自然の中でのクマの暮らしに重点を置きながら、人里に出没する理由や、人が気を付けるべき点を伝えています。「本来の姿を知ることが、冷静に向き合う第一歩になる」と、佐藤さんは考えています。これからも佐藤さんは、観察と記録を重ねながら、クマの実像を伝え続けます。

No.302

## みんなの詩歌



美しき魅力の妖精紅の美色まといし  
老いなき教師 高橋ゆうゆ

何気ない言葉に笑う放課後はあつと  
いうまに「はいはいまたね」 小原絆

喜びもつらさも全部受け止めて大人  
の階段踏みしめ登る 高橋 璃空

将棋盤にらみ長考長考しついに決心  
勝負の一手 菊池 奏佑

和賀西中学校三年

※掲載作品は日本現代詩歌文庫内に展示しています。



嶋 奏翔くん⑥ 直陽人くん⑥  
令和5年2月14日生まれ 令和3年8月15日生まれ  
(相去町)

いつまでも兄弟仲良く過ごしてね！いつも大きなパワーをありがとう！



多田 凧華ちゃん  
令和7年4月16日生まれ  
(しらゆり)

毎日癒しの笑顔がありがとう！笑顔で前進あるのみの凧華の成長を楽しみにしています！

## おらほの愛どる



申し込みフォーム

げんきに にこにこ なかま  
すきなこと  
たくさんみつけよう！

※今月は児童が作成した学級目標を紹介します(左:1・2年生、右:3~5年生)。

### 主任 白澤先生からのメッセージ

南小学校の児童と運動会などの行事や学習活動を行い、同じ地域に住む仲間として共に理解を深めながら、これからも元気に楽しく過ごしていけることを願っています。

5月のクラス  
花巻清風支援学校  
北上みなみ分教室 小学部

